

●●●2024年1月～3月期 栃木県中小企業景況調査(179回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況

D I 値

-7.9

※全国 -10.4

業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(10-12月期)から9.0ポイント改善し-7.9ポイントとなり、全国と比較しても4期連続で全国平均を上回る結果となった。また、業種別に見ると製造業、建築業で小幅ながら悪化となったものの、小売業、サービス業では改善が見られた。

仕入単価は、製造業で73.1ポイント、建設業で70.0ポイント、小売業で70.7ポイント、サービス業で70.2ポイントと各業種で高止まりが続いているが来期はすべての業種で改善が見込まれる。

来期の県内全体の業況は7.5ポイントの改善となる見込みで、5期連続で全国平均を上回る見込みである。業種別に見ると小売業は-9.2ポイントとほぼ横ばい、建設業が-8.9ポイントと悪化傾向にあるが、サービス業が-4.1ポイントとほぼ横ばい、製造業では14.9ポイントの大幅な改善が見込まれている。

～天気図の指標～

現 状	良 い	やや良い	やや悪い	悪 い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
製造業						
D I 値		-10.4	-3.5	73.1	-10.3	-13.8
業況：前期から3.9ポイント悪化し、来期は大幅改善の見込み						

来期予想(全体)	
14.9	
(↑)	

建設業					
D I 値	-13.8	-50.0	70.0	-36.8	-15.0
業 況：前期から0.8ポイントの悪化、来期は-8.9ポイントと小幅改善の見込み					

-8.9	
(↓)	

小売業					
D I 値	-11.0	-2.4	70.7	-26.8	-14.6
業 況：前期から27.0ポイントの大幅改善、来期は小幅な悪化が見込まれる					

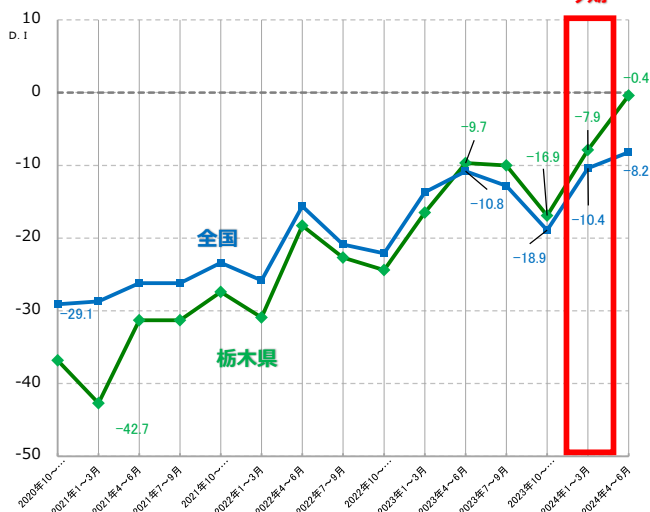
-9.2	
(→)	

サービス業					
D I 値	-4.2	-1.8	70.2	-36.9	-12.5
業 況：前期から10.8ポイントの改善も来期は10.0ポイントの悪化の見込み					

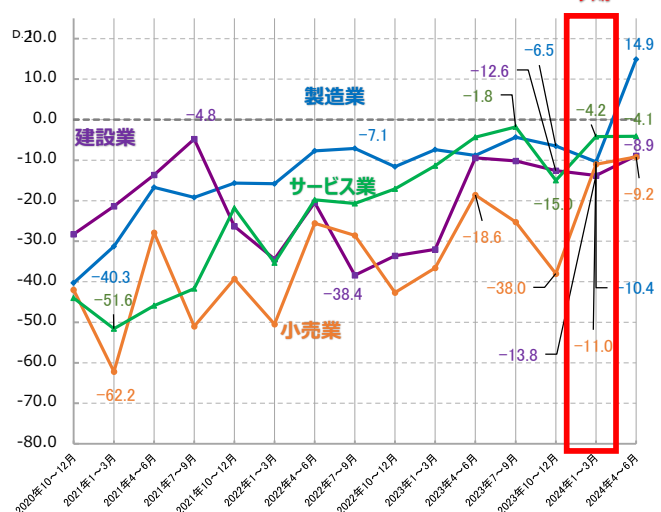
-4.1	
(→)	

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

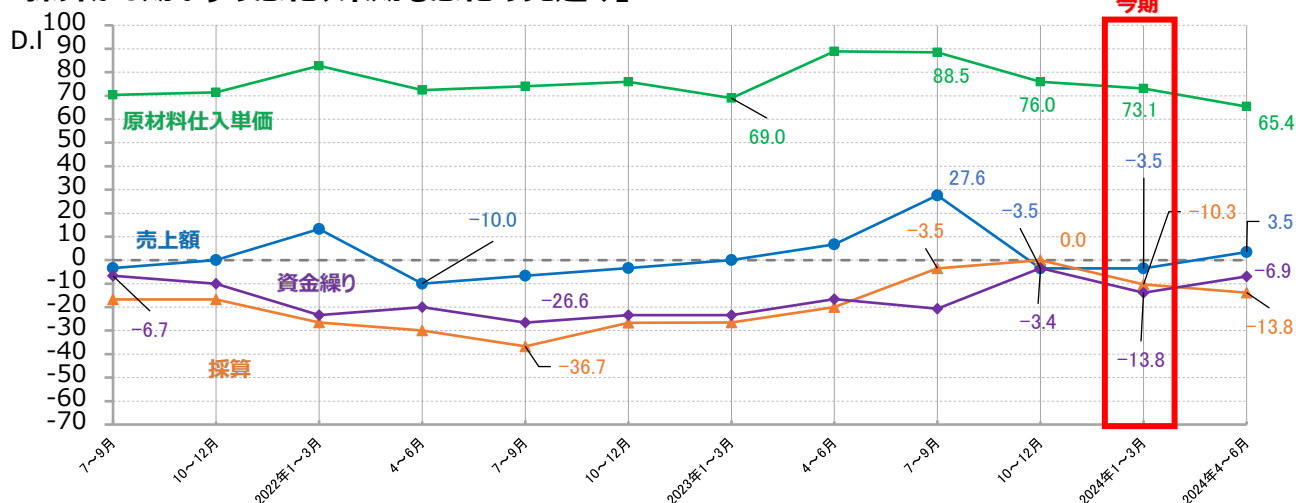


業種別業況の推移



製造業

「採算が6期ぶりの悪化、来期も悪化の見込み」

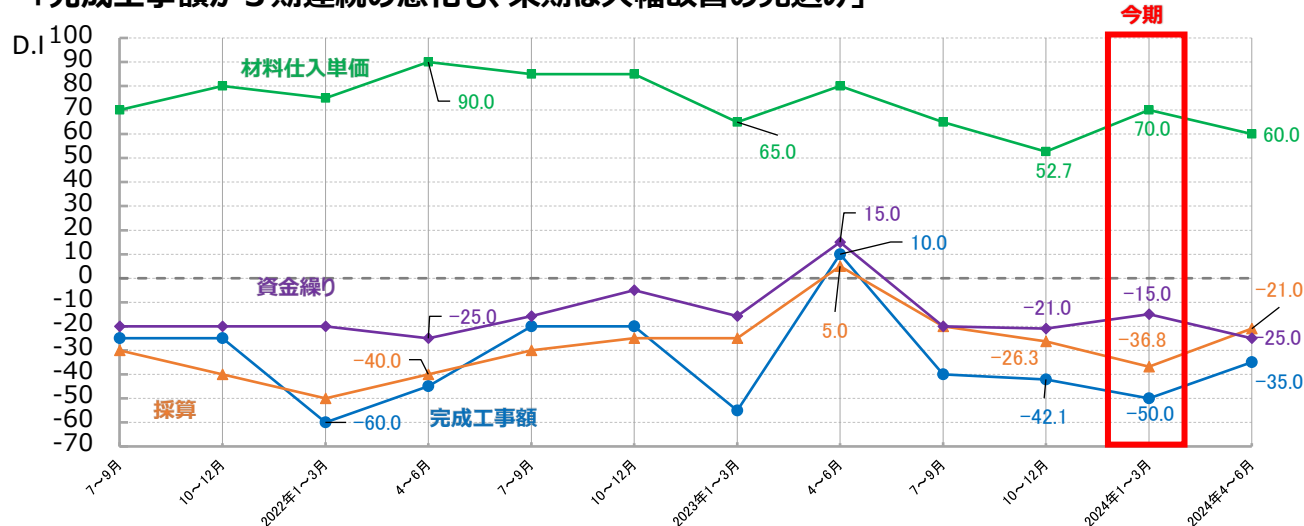


「資金繰り」は10.4ポイント（-3.4→-13.8）の大幅悪化となった。来期は6.9ポイント（-13.8→-6.9）と改善の見込みとなっている。「売上額」は、横ばいだが、来期は7.0ポイント（-3.5→3.5）の改善が見込まれる。「原材料仕入単価」は、2.9ポイント（76.0→73.1）と2期連続の改善となった。来期も7.7ポイント（73.1→65.4）の改善が見込まれるものの、依然として高止まりは続く見込みである。「採算」は10.3ポイント（0.0→-10.3）の悪化となり、6期ぶりの悪化となった。来期も3.5ポイント（-10.3→-13.8）の悪化の見込みである。

【経営上の問題点】 第1位：需要の停滞（26.2%） 第2位：原材料価格の上昇（21.2%）
第3位：製品ニーズ変化への対応（11.2%） 第4位：従業員の確保難（11.2%）

建設業

「完成工事額が3期連続の悪化も、来期は大幅改善の見込み」

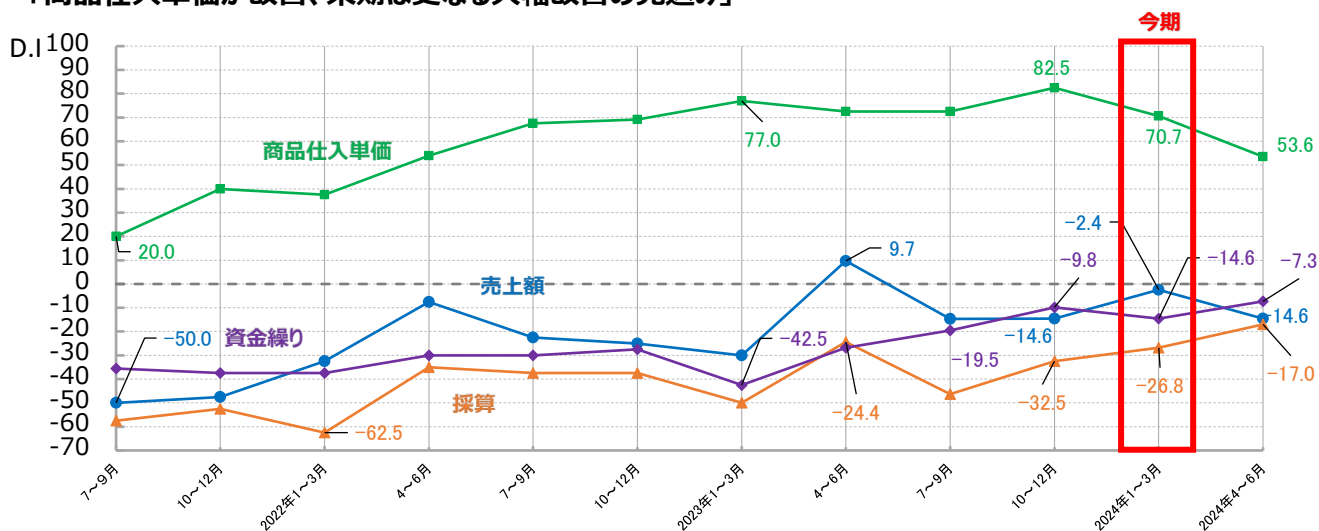


「採算」は10.5ポイント（-26.3→-36.8）の大幅悪化となり3期連続の悪化となったが来期は15.8ポイント（-36.8→-21.0）の大幅な改善が見込まれている。「資金繰り」については6ポイント（-21.0→-15.0）の改善が見られたが来期は10.0ポイント（-15.0→-25.0）の大幅悪化が見込まれている。「材料仕入単価」は、17.3ポイント（52.7→70.0）の大幅悪化となった。来期は10.0ポイント（70.0→60.0）の改善が見込まれる。「完成工事額」は、7.9ポイント（-42.1→-50.0）と3期連続の悪化となったが、来期は15.0ポイント（-50.0→-35.0）の大幅改善となる見込みである。

【経営上の問題点】 第1位：材料価格の上昇（21.2%） 第2位：従業員の確保難（21.2%）
第3位：民間需要の停滞（12.1%） 第4位：材料費・人件費以外の経費の増加（9.1%）

小売業

「商品仕入単価が改善、来期は更なる大幅改善の見込み」

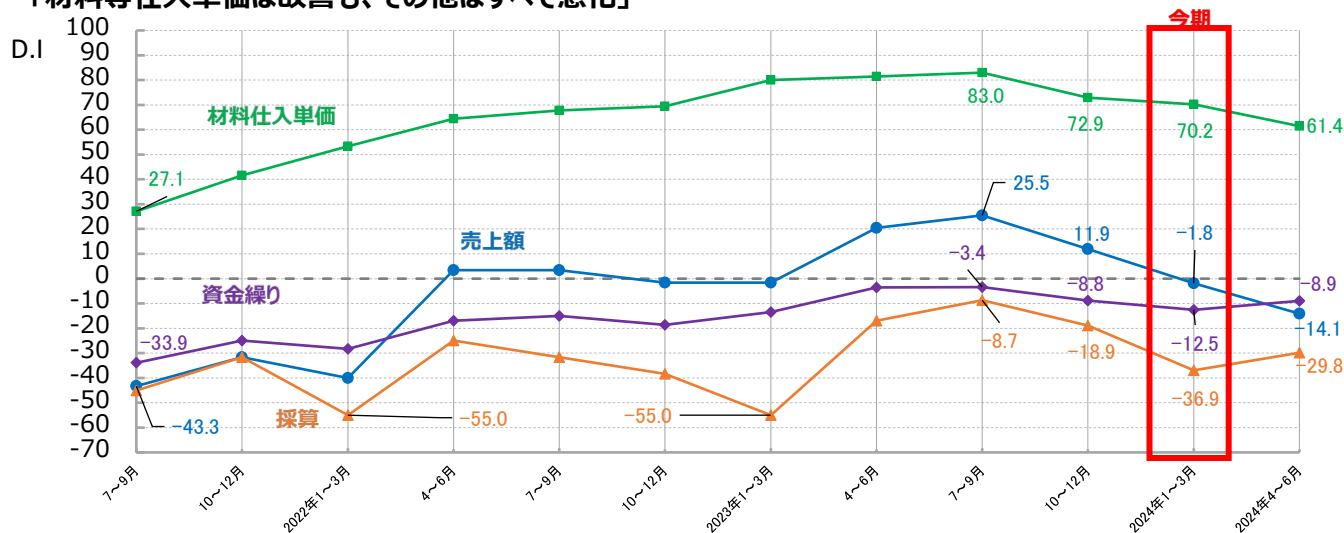


「売上額」は、12.2ポイント（-14.6→-2.4）の大幅改善が見られた。しかし来期の見込みだと12.2ポイント（-2.4→-14.6）の大幅悪化を見込まれている。「採算」は、5.7ポイント（-32.5→-26.8）の改善となり2期連続の改善となった。来期も9.8ポイント（-26.8→-17.0）の改善となり3期連続での改善の見込みである。「資金繰り」は、4.8ポイント（-9.8→-14.6）と4期ぶりの悪化となったが、来期は7.3ポイント（-14.6→-7.3）の改善が見込まれる。「商品仕入単価」は、11.8ポイント（82.5→70.7）の大幅改善が見られ、来期はさらに17.1ポイント（70.7→53.6）の大幅改善見込みとなり、改善傾向である。

- 【経営上の問題点】 第1位：仕入単価の上昇（21.7%） 第2位：消費者ニーズの変化への対応（16.7%）
第3位：需要の停滞（16.7%） 第4位：店舗の狭隘・老朽化（8.3%）

サービス業

「材料等仕入単価は改善も、その他はすべて悪化」



「材料等仕入単価」は2.7ポイント（72.9→70.2）と改善となった。来期も8.8ポイント（70.2→61.4）の改善が見込まれる。「売上額」は13.7ポイント（11.9→-1.8）の悪化、来期も12.3ポイント（-1.8→-14.1）の更なる大幅悪化が見込まれる。「採算」は18.0ポイント（-18.9→-36.9）と前期に引き続き大幅悪化となった。来期は7.1ポイント（-36.9→-29.8）と小幅に改善する見込みである。「資金繰り」も前期に引き続き3.7ポイントの悪化（-8.8→-12.5）の悪化となった。来期は3.6ポイント（-12.5→-8.9）と小幅ながら改善となる見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇（36.3%） 第2位：利用者ニーズの変化への対応（9.9%）
第3位：人件費以外の経費の増加（8.8%） 第4位：人件費の増加（7.7%）

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・下野市・足尾町・益子町・茂木町
市貝町・壬生町・藤岡町・喜連川・那須塩原市

○調査時点

2024年3月1日

○調査対象期間

2024年1月～3月期の実績及び、2024年4月～6月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業 種	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	29	19.6%
建 設 業	19	12.8%
小 売 業	41	27.7%
サービス業	59	39.9%
合 計	148	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編 集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875